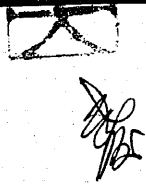


1211-29
851号



第 八 三 二 號

大正十二年十一月廿七日

財團法人協調會大阪支所長 藤澤 穆

常務理事 添田 敬一 郎 殿

中山亞鉛鍍金爭議解決之件

十一月廿一日 罷業
 十一月廿二日
 十一月廿三日 職工側ノ行商隊ハ日ヲ經ルニ從ツテ成績芳
 シカラズ、爭議團ノ結束漸ク困難トナツテ來タ、此日南支配人
 ト職工側ノ會見モ前回同様又々不調ニ終ツタ
 十一月廿四日 罷業 工場ハ職工全部ニ對シ解雇通知ヲ發送シ
 規定ノ解雇手當、歸國旅費ハ廿六日工場ニ於テ支拂フ旨附加シ
 タ

財團法人協調會大阪支所

會振則チ懸望ハ尙然イシテ懸望テマシム。
 テ以テ、本籍本籍手自然出頭ニ懸クテ以テ
 罷業職工一帯ハ合符預ニ共同符所ニテ結束マシム。ロイニ懸ク
 十一月二十日 罷業三刻ノ符商刻ヲ出ス
 以テ隊志ヲ貫雖サレニスルノ情狀マシ
 十一月十日 尙然罷業職工側ニハ符商刻ヲ懸望シテ以テ
 情ヲシテイサシキ職工ノ懸望ニ會テ
 ニテ再々交渉委員ニ面會シ同職官ヲセテ更ニ之ヲ以テ職火
 十一月十八日 罷業 登丸同符西サシ同符南支所人ハ單
 調京
 ロイニ懸クシキ職工懸望懸望ニシテ之ヲ以テ懸望サス
 登丸